

# 松葉屋通信

matubaya-tushin  
vol.22 2012.12.5

## 大門町古き良き時代

長野信用金庫大門町支店建て替えへ



# かつての「しんきん」は 大門町の象徴でした

長野信用金庫大門町支店は、昭和37年に建設され、昭和53年に現在の本店が完成した後は大門町支店として善光寺門前町の長い歴史を刻んできた。その歴史は長野信用金庫発足の歴史であり、大正時代まで遡る。当時の出来事と共に、長野信用金庫大門町支店の建物の変遷と、本店時代から門前町の皆さんに愛されてきた長野信用金庫大門町支店の、過去・現在・未来の姿を、長野信用金庫総務部副部长太田さんに伺った。



(写真1)



若松町にあった旧長野市役所庁舎



## 長野信用金庫の新しい一歩

**善五郎** ■長野信用金庫の発祥の地である大門町の創業当時から現在に至るまでの流れを教えてくださいか？

**太田** ■大門町支店というのは、長野信用金庫の本店だったのですが、当金庫の発祥は大正12年に遡るんですね。当時の丸山長野市長らの強力な助成を得て、初代組合長に長野実業銀行頭取の小林久七さんを選任して、長野信用金庫の前身となる長野市庶民信用組合という、創立準備委員会が発足したんです。当時、善光寺界隈の若松町に長野市役所本庁舎がありまして、その裏に事務所を開設したんです。

**善五郎** ■今も、農協さんがありますね。



**太田** ■そうですね。その当時、本間利雄長野県知事宛てに「有限責任長野市庶民信用組合設立許可申請書」を出したわけです。それが受理されて、大正12年9月1日に、「長野市庶民信用組合」として、誕生しました。これが、長野信用金庫のはじまりになります。また、この日に、関東大震災が京浜地方で起こったんです。

**善五郎** ■同じ日にですか？

**太田** ■もうそれは大変だったみたいです。それから翌年の大正13年に、東町の鐘鋳端へ本店事務所を移すことになりました。

**善五郎** ■今も、鐘鋳川かねいしかがは、現在の大門町支店の脇の地下に流れていますね。

現在の酒まんじゅうで有名な「つるやまんじゅう」は、僕達が生産のころは「鐘鋳川端まんじゅう」と呼んで親しんでいました。昔は、何軒かあったみたいです。

**太田** ■そう、確かそのつるやさんの東



この建物が松葉屋の目の前に建ったのは私が小学生の頃。青いネオンの「しんぎん」の看板や赤いサーチライトの鉄塔が印象的でした。まさに今で言う『スカイツリー』を見上げて圧倒されているような心情。そんな建物がある大門町に、子どもながら優越感を覚えていました(笑)

隣のあたりにあったようですね。そこに本店事務所を移して、昭和18年までそこで営業していました。

その間に、昭和5年に世界恐慌が勃発して、当時県内でも有力な信濃銀行が支払いを停止しているんですよ。たまたま、当時の信濃銀行の頭取が、長野市庶民信用組合の組合長の小林久七さんで、同じ人がやっていたわけですね。だからその時は、長野市庶民信用組合は、払戻準備金を総動員してかき集めて、遅滞無く払い戻しをして、難局を乗り切ったという記録があります。

昭和18年に、現在地の大門町に移転し

ました。それが、この建物です(写真1)。この建物は、元旅館なんです。当時、木造3階建ての建物を手に入れましたが、戦時中ということもあり資材不足で2年余の苦心改築工事の末に竣工したそうです。当時としては、美術建築を加味した建築様式で、中央通り沿いに異彩を放つ建物として、ここを通る人たちが仰ぎ見たという建築でした。

善五郎■綺麗ですよ。

太田■それから昭和23年12月に名称を「長野市庶民信用組合」から、「長野信用組合」に変えました。

昭和26年6月に信用金庫法が制定さ

れまして、これによって、昭和26年10月に今の「長野信用金庫」と名前が変わりました。その後、創立40周年記念となる、昭和37年に建て替えを行い、現在の建物に至るという流れですね。

## 大門町支店改築へ期待

善五郎■来年の11月に建て替えられる大門町支店の建物のプランなどをお聞かせ下さい。

太田■現在の建物は、築50年なので、金庫が来年創立90周年になるんですね。これも、不思議な廻り合わせというか、現在の建物を創立40周年記念に建て、来年創立90周年を迎える年に建て替える事になりました。この大門町支店は、善光寺の門前町の玄関口にあたりますので、当金庫としては、それにふさわしい建物にする予定です。今のちょうど角が、大門町南景観計画推進地区の一番端なんです。

善五郎■上は善光寺領、下は松代で、この鐘鐺川を境にしたところで、昔は橋があったん

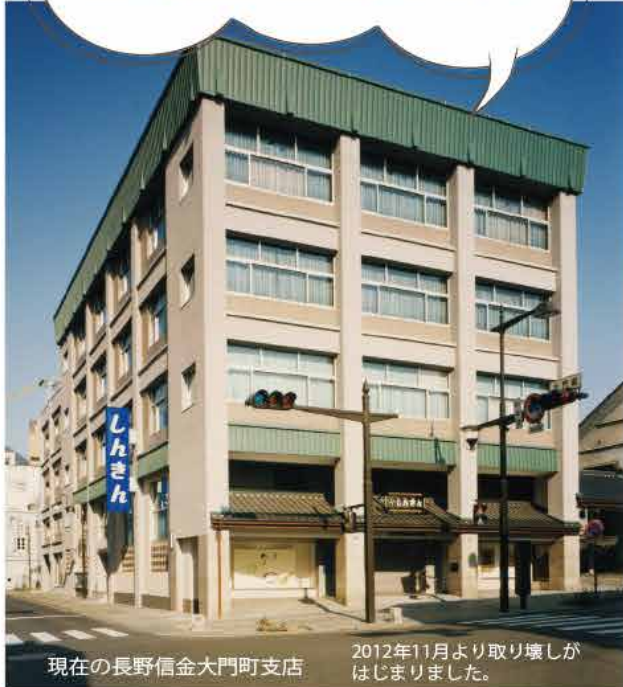
ですね。いずれは、僕個人的な夢といったしましては、鐘鐺川の橋を復活させて、せせらぎのある町にできたら、ここから善光寺だよって、はつきりわかりますよね。それはすぐく時間がかかるものかもしれませんが。

太田■そうですね。善光寺参りのお客様の玄関口になるので、新しい大門町支店としては、善光寺さんの歴史を紹介できるようなギャラリィを設けて、そのギャラリィは表参道を通る方が、自由に入れるようにする予定です。今も、ちよつとしたギャラリィはあるんですけど。今度は、もつとオープンなギャラリィにする予定です。正面には、瓦を設けて、ちよつと善光寺さんまで、瓦屋根が続いていくようなものを考えています。イメージ的には、小布施支店の



長野信用金庫  
総務部 副部長 太田忠彦様

サヨウナラ、大門町支店旧社屋  
そして来年、新しい大門町の  
顔になることを  
心から期待もうしあげます。



現在の長野信金大門町支店

2012年11月より取り壊しが  
はじまりました。

ような感じですかね。  
善五郎■大門町も、小布施のような感じ  
になったらいいなと思っていたので、今  
日はすごく安心しました。ありがとうございます。  
太田■善光寺の門前にふさわしい店舗に  
します。というのは、当時から、地元の方  
に愛されていた店舗なので、新しい店舗  
も引き続き地元の皆さんに可愛がつてい  
ただける、門前町を意識した建物にする  
ので、大丈夫です。安心して下さい。  
善五郎■お客さまがすごく気になさって  
いたので、町の方にも、こういう発行物を

配らせていただいて、こういう建物にな  
るよという事をお知らせしたいと思いま  
す。大門町南方のおとなしい人達が多  
いので、口にはださないけど、心の中  
は、大門町支店の建て替えを心配してい  
ると思うんです。  
太田■今の建物に親しみを感じていた  
いている方も多いと思いますが、新店舗  
は宮本忠長建築設計事務所の設計によ  
り、今まで以上にどなたからも親しまれ  
る建物に生まれ変わりますので、楽しみに  
しててください。

Vol.1とVol.2が  
できました

長野・大門町  
門前くらし観光案内所  
MAPができました！

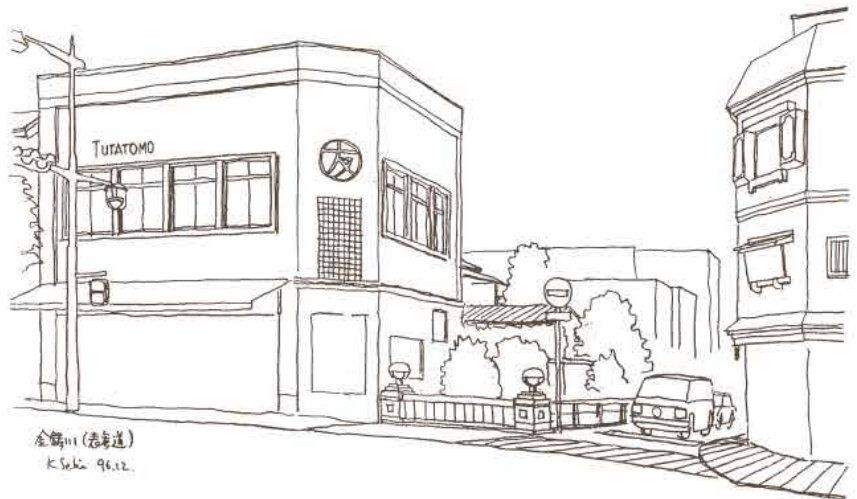


ご希望の方はご連絡ください！

松葉屋家具店+くらし道具学研究所  
〒380-0841 長野市大門町45  
since1833@matubaya-kagu.com  
TEL 026-232-2346  
FAX 026-237-4558

(水曜定休)

© 松葉屋家具店+くらし道具学研究所  
Copyright ©2010 Matubayakaguten Co., Ltd.  
All rights reserved.



金鐘11(志事道)  
K.S. 96.12.

今から16年前に想い描いた鐘鐘  
川のせせらぎの復活。当時、友人で  
あり先輩の関邦則さんにイメージを  
おこしていただいたスケッチを今で  
も大切に保管しています。ひとりの  
力では何もできませんが、想いを共  
感してくれる方が増えれば、将来何  
十年後かに実現するかもしれませ  
ん。せせらぎのある町、善光寺の玄  
関口を夢見て諦めず語り続けてい  
きます。  
今回の大門町支店改築は、私に  
とっても「夢のはじまり」のように感  
じています。人の笑顔があふれ、ど  
こか懐かしくも新しい、そんな大門町  
になることを期待しています。

滝澤善五郎

編集後記

夢の第一歩